

県立学校における感染防止対策等について（教育長説明）

令和2年6月18日

再開後の県立学校において感染者の発生が続き、議員の皆様方にはたいへんご心配をおかけしております。県立学校における感染防止対策等の状況について、まず私から概要を説明させていただきます。

3月3日以降休業していた県立学校は、5月25日に再開いたしました。その後6月第一週までは分散登校を実施し、6月第二週以降、時差登校の形を適宜取り入れながらですが、準備の整った学校から随時通常授業に移行しております。

学校再開にあたっては、文部科学省の「教育活動の再開等に関するQ&A」や、「衛生管理マニュアル」等に基づき、各校に対して、感染防止対策を徹底するよう指示を出しました。具体的には、登校前の検温、マスク着用と手洗いの励行、座席配置の工夫、換気の徹底、こまめな消毒、対面を避けた授業の工夫などです。

校内に感染疑いの者が出た場合、あるいは感染者が確認された場合は、教育委員会や保健所等とも連携して対応を進めることを事前に確認しておりました。今般、県立高校生の感染が確認された際もこの確認に沿った対応がなされたところです。

県立高校生の感染が確認された事実は重く受け止め、今後は、学校における感染防止対策をさらに徹底して参ります。その上で、生徒の学習活動を徐々に平常に戻し、授業の遅れを取り戻していきたいと思っております。また部活動も段階的に拡大し、当面は7月から8月にかけて予定されている運動部の代替大会が無事開催できるよう、準備を進めていきたいと思っております。

子どもたちには、この困難な状況にあっても適切な振る舞いを忘れないよう呼びかけたいと思っております。体調がよくないときは無理せず休む、感染を恐れるとともに感染者を差別して心ない振る舞いをしてしまうことを恐れる、社会全体で感染拡大を防ごうとしていることを踏まえて学校以外の場での自らの行動についても常に振り返る、などです。

学校の教員には子どもたちを励まし、そして子どもたちの力を信じてほしいと思っております。しかし同時に、子どもたちは弱い存在でもあります。未曾有の状況が続く中、慌てて学力を取り戻そうとするのではなく、子どもたちの様子を見ながら部活動等も含めじっくり指導する余裕も持つよう働きかけて参ります。

明日19日からは4月補正予算の予備費を活用させていただき、生徒の安全とともに県民全体の感染拡大リスク低減を目指して、臨時スクールバスの運行を始める計画です。可能な手立てはできる限り講じて参りたいと思っております。

今後、学校の教育活動が早い段階で平常に戻れるよう、県議会議員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。本日は説明の機会をいただきまして、ありがとうございました。このあと詳細につきまして高校教育課長から説明申し上げます。